

郷土資料展

鹿狼山をひもとく

～手長明神の伝説と新地貝塚の歴史～

展示期間：令和8年10月1日(木)～11月15日(日)

【鹿狼山】

No.	タイトル	叢書・副書名等	著者	出版社	出版年	分類(場所)	内容
1	相双見聞録 悠遊の達人		アドヴァンス：編	社団法人 相双法人会	2000.7	212ア(郷土・郷土禁帯)	遊海しんち・わくわくランド(p5)写真掲載、鹿狼山周辺(p8.9)、地酒鹿狼山(p68)、リンゴジュース・あぐりや(p70・p71)、いちじくワイン(p73)、しんちゃん納豆(p76)の記載あり
2	福島花紀行 阿武隈編		いわき自然塾	歴史春秋社	2001.4	291イ(一般歴史)	鹿狼山(p10～p15)の記載あり
3	相双歴史散歩		植田 龍：著	歴史春秋社	2003.4	291ウ(郷土)	新地町一駒ヶ嶺城(臥牛城)跡、逆さイチョウ、高田の道陸神(子眉嶺神社)、鹿狼山、あんこ地藏尊、新地貝塚、浜街道石仏群(新地城跡)、いっぱい清水、観海堂、釣師浜P184～194に掲載。
4	新うつくしま百名山		奥田 博：著	福島テレビ株式会社	2021.3	291オ(郷土)	p182～183に新地町の鹿狼山の記載あり。
5	ふくしまの低い山50	ハイキングガイド	奥田 博 // 写真文	歴史春秋出版	2017.3	291オ(一般歴史)	自分に合ったグレードで登山が楽しめる福島県内の低山50を紹介したハイキングガイド。グレードや交通・参考コースタイムなどのデータ、地形図も併せて掲載する。p84に鹿狼山(新地町)掲載有り
6	新福島百山紀行		奥田 博：著	歴史春秋社	1999.4	291オ(書庫歴史)	160. 161ページに鹿狼山の記載有り。
7	福島の山と温泉	歴春ふくしま文庫84	奥田 博	歴史春秋社	2000.12	291オ(郷土)	鹿狼山／鹿狼温泉の記載有り(p134・135)
8	福島県の山	新・分県登山ガイド6	奥田 博[ほか]：著	山と溪谷社	1997.3	291オ(書庫歴史)	p4の地図内とp84.85に鹿狼山の登山にかかる時間、コースなどについて記載あり
9	福島県の山	新・分県登山ガイド6	奥田 博[ほか]：著	山と溪谷社	2004.10	291オ(書庫歴史)	P94・95に鹿狼山の登山にかかる時間、コースなどの記載有り。
10	福島県の山	分県登山ガイド6	奥田 博[ほか]：著	山と溪谷社	2017.10	291オ(一般歴史)	p114に新地町の鹿狼山の標高・登山コース等の記載あり。
11	宮城の名山		河北新報社	河北新報社	1995.4	291シ(書庫歴史)	P156、157鹿狼山の記載あり。
12	うつくしま百名山		福島テレビ：編	福島テレビ株式会社	1999.7	291フ(郷土・書庫禁帯)	鹿狼山(p101)の記載あり
13	みちのく120山	東北の登山紀行とガイド	福島キャノン山の会：著	歴史春秋出版株式会社	1991.6	291フ(書庫歴史)	p388～391まで鹿狼山についての記載あり。

No.	タイトル	叢書・副書名等	著者	出版社	出版年	分類(場所)	内容
14	福島遺産百選ガイドブック		福島民友新聞社:編集	福島民友新聞社	2008.9	291フ(郷土)	P2・3に「鹿狼山と新地貝塚」の掲載有り。
15	ふくしまの遊歩道50選		福島民報社:編	福島民報社	2001.8	291フ(一般歴史)	ふくしま緑の百景 鹿狼山の原生林(p131)
16	トコトコおじさん山歩き		増田 俊雄 // 著	産経新聞出版	2025	291マ(一般歴史)	p203～209「福島/宮城みちのく潮風トレイル」の項に、作者が、新地町の白幡の大きいちょうや旧新地高校の脇を通り鹿狼の湯へ歩いたコース、登山後、右近清水や福田諏訪神社を経て、山元町の震災遺構中浜小学校へ進んだことが記載されている。
17	マイカー登山	常磐・磐越・館山道		山と溪谷社	1998.11	291マ(書庫郷土)	p60～61に鹿狼山の情報あり。
18	宮城県の山	分県登山ガイド3	早川輝雄 ほか	山と溪谷社	2017.1	291ミ(一般歴史)	p138～139に鹿狼山の登山にかかる時間、コースなどの説明有り。
19	みんなで！福島	2025－26	GAC // 企画構成ほか	テレビユー福島	2025	291ミ(郷土)	福島県内の各自治体ごとの祭り・イベント情報。巻頭特集で、県内の縁起物、神社仏閣などの紹介も。表紙に福田十二神楽写真、p102新地町のページに福田十二神楽、あんこ地蔵供養祭、鹿狼山元旦登山の紹介あり。
20	山と溪谷 2025年11月号	全国絶景低山100 forビギナーズ		山と溪谷社	2025.11	291ヤ(一般歴史)	p67に海に見える山として鹿狼山の記載あり
21	るるぶ福島 特別編集		JTBパブリッシング:企画・編集・制作	「福が満開、福のしま。」福島県観光復興推進委員会	2024	291ル(一般歴史・郷土)	p18に鹿狼山元旦登、p23にしんちパンプトラック、p24につるしの湯 新地町の情報掲載
22	ふくしま自然散歩	歴春ふくしま文庫1	いわき自然塾:編	歴史春秋出版	2002.8	402フ(一般自然)	鹿狼山のキクザキイチゲ写真掲載(p10) 鹿狼山植物散歩((p168～p174)
23	福島県の身近な自然調査報告書	平成12年	福島県自然保護協会:編	福島県自然保護協会	2000.8	R462フ(郷土)	鹿狼山(p23・p24)の記載有り
24	ザ・福島	ふるさと産品拝見	河北新報社福島総局:編		1990.6	602ザ(一般産業)	鹿狼山りんごジュース(p178～p180)の紹介あり
25	みちのくにみちつくる	後編	しま たけひと // 著	双葉社	2016.2	726シ(一般芸術)	「みちのく潮風トレイル」で東北の被災地を歩く新しい「巡礼の道」の物語を描いたコミックで、後ろの方、21ページ分で作者たちは鹿狼山登山をし、新地町のことを描いています。
26	浜通り	金子俊一朗写真集	金子 俊一朗 // 著	現代写真研究所出版局	2018.12	748カ(郷土)	東日本大震災から7年経った今、勿来駅から新地駅までを旅したモノクロ写真集。p115～123に新しい新地駅、駅からの鹿狼山、復興途中の駅周辺など2018年頃の新地町の写真掲載。
27	TRAILHEAD軽量登山最前線ロングトレイル	Vol.6		三栄	2025.8	786ト(一般歴史)	p16～19の「特集ふくしま浜街道トレイル」に、みちのく潮風トレイルの延長ルートとしての新地町からいわき市までのふくしま浜街道トレイルの説明、鹿狼山についても記載あり。p20～29の「エリア別詳細コース、新地→鹿島」に、磯山展望緑地をスタートし新地町内をハイクしたルート・景色・町内のお店・鹿狼山登山などを紹介。

No.	タイトル	叢書・副書名等	著者	出版社	出版年	分類(場所)	内容
28	鹿狼山		森 杏太郎:著	熊工房	2003.7	911モ(郷土・書庫禁帯・書庫郷土)	本名 長堀守弘(ナガホリ モリヒロ)。作者が太平洋戦争時に新地村に疎開し、自然に出てくる言葉そのまま、終戦の頃を書いたものに、朝倉氏(鹿島町在住)が挿し絵を描いた鹿狼山の詩画集。

【手長明神】

No.	タイトル	叢書・副書名等	著者	出版社	出版年	分類(場所)	内容
1	相馬の歴史と民俗から		岩崎 敏夫	広文堂書店	1998.8	212イ(郷土・書庫郷土・書庫禁帯)	相馬の伝説 水無川―新地町駒ヶ嶺菅谷(p99)鹿狼山と手長足長(p101・p102)駒ヶ嶺(p102・p103)記載
2	大系日本福島 第4巻	文化と民俗	山岡 真芭:編	コーキ出版	1979.11	R291タ(郷土)	福島県における伝説の実例(p222～p224に鹿狼山の写真掲載)あり
3	福島「地理・地名・地図」の謎	意外と知らない福島県の歴史を読み	石田 明夫:監修	実業之日本社	2015.1	291フ(一般歴史)	p102～104に鹿狼山の手長明神伝説についての記載あり。p115～116に小川地区のあんこ地蔵についての記載あり。
4	福島県の不思議事典		小桧山 六郎:編	新人物往来社	1993.8	291フ(郷土)	貝塚から出土した人骨の頭位にまつわる謎―三貫地貝塚・新地貝塚(p121・122)北にくるほど大きくなる巨人伝説の不思議―三貫地貝塚・新地貝塚(p153)
5	いくまさ鉄平紙芝居一覧		まち物語制作委員会	まち物語制作委員会	2020.1	369イ(郷土)	p5に東北まち物語(震災関係)紙芝居として、新地町のお話「命の次に大切なもの」、「豆名月」の記載あり。 p11～12に東北まち物語(民話・昔話)紙芝居として、新地町のお話「姫君と名馬」、「あんこ地蔵」、「鹿狼山と手長明神」の記載あり。
6	浜通り伝説へめぐり紀行		植田 龍:著	歴史春秋社	2005.3	388ウ(郷土)	206p～216pまで、逆さイチョウ、観海堂、子眉嶺神社、三湧水、手長明神、くるめがすりの家、水神沼等の記載有り。
7	新地の昔話		新地語ってみっ会:編集	新日本文芸協会	2001.4	388シ(郷土・郷土禁帯・書庫郷土)	昔から新地に語り継がれている民話をまとめたもの。
8	海ノ民話の世界		日本財団海と日本PROJECT海ノ民話のまちプロジェクト:編	文藝春秋	2024.7	388ニ(郷土)	p5に「鹿狼山の手長明神2023」の紹介、p132～133に川島秀一さん(新地町)「海によってつながりが広がる連綿と連なる海と漁師の物語」、p159作品インデックスに「鹿狼山の手長明神」記載あり
9	復興と民話	ことばでつなぐ心	石井 正己 // 編 やまもと民話の会 // 編	三弥井書店	2019.3	388フ(郷土)	p52に駒ヶ嶺や新地の相馬藩と仙台藩への住民感情について、p56に御船地蔵(地蔵森)・八千山への津波について、p58小野トメヨさんとのエピソードについて、p61荒保春さんの『口碑福田史』について、p66に新地町在住の村上美保子さんの質問、p72小野トメヨさんについて、p113鹿狼山の手長明神の語り、p114新地の浦島太郎の語り、p115に小鯨・舟越地蔵について、p151に小野トメヨさんについて、p179～182に新地町在住の川島秀一さんのエッセイ(民俗学や漁師のこと)、ほか参考文献として新地町史や口碑福田史の記載あり。執筆者に新地町在住の鈴木寿子さん、村上美保子さん、竹澤永さん、川島秀一さんの記載。

No.	タイトル	叢書・副書名等	著者	出版社	出版年	分類(場所)	内容
10	はみだせ！あんこちゃん	記憶のなかの新地町	新地町復興応援隊	NPO法人みらいと	2016.3	726シ(郷土・郷土禁帯・書庫禁)	新地町って？／鹿狼山／Back To The 昔／記憶の中の200X／明治の記憶190X／江戸時代の記憶1611 東日本大震災後、新地町についてのマンガを制作
11	福島吟行案内	吟行案内シリーズ35	橋本 研二：編集代表	公益社団法人俳人協会	2020.3	911ハ(郷土・郷土禁)	p150に72相双 新地 鹿狼山、さかさイチョウ、三貫地貝塚の掲載あり
12	みちのく妖怪ツアー 8	プレイミュージアム編	野泉 マヤ // 作 ほか	新日本出版社	2025	913ミ(郷土・児童文学)	p5～28「1 手長(福島県)」は新地町を題材にしたものと思われる。オートキャンプ場・バーベキューサイト・パークセンター、たこシュウマイ、震災前の街並みジオラマ、鹿狼山など新地町の情報が満載の一話。
13	我が山河	福島への憧憬	小泉 武夫：著 酒井 昌之：挿画	福島民報社	2021.10	914コ(郷土)	p97～102に「新地町のこと」と題して、新地貝塚・三貫地貝塚、手長明神、子眉嶺神社、福田諏訪神社、あんこ地蔵、御殿岬戊辰戦役跡、右近清水、釣師ガレイ、鹿狼の湯について記載。
14	鹿狼山の手長明神	福島県新地町	日本財団「海と日本プロジェクト」/一般社団法人日本昔ばなし協会：企画・製作	新地町、海ノ民話のまち実行委員会	2024.2	DG 38 /シン /0656 シンチ(DVD)	新地町に伝わる手長明神伝説をアニメーションDVDにしたもの。昔、新地町の山に手の長い神様「手長明神」が住んでいました。白い鹿と狼をお供に、人々の暮らしを見守っていました。手長明神はお腹がすくと、長い手を伸ばして釣師浜のおいしい貝を採って食べ、その貝殻を捨てた場所は「新地貝塚」となり、ちょうど山と海の真ん中あたりに現在も残っています。貝塚の西側には、手長明神を祀った神社があります。手長明神が住んでいた山は、お供の鹿と狼にちなみ「鹿狼山」と呼ばれ、新地町のシンボルとして町

【新地貝塚】

No.	タイトル	叢書・副書名等	著者	出版社	出版年	分類(場所)	内容
1	新地町縄文文化企画展 2024	新地の土器niドッキドキ 新地町三村合併70周年記念事業	新地町教育委員会	新地町教育委員会	2024	210シ(郷土・郷土禁帯)	令和6年12月7日(土)～15日(日)まで、新地町文化交流センターで行われた新地町縄文文化企画展2024新地の土器niドッキドキ」の図録。新地貝塚・三貫地貝塚から出土した土器、土偶、石鏃、石錐、石斧、土錘、管玉、磨皿・敲石、石棒など約200点以上の品々を展示。
2	町道新地高校線関連遺跡 試掘調査報告書	2001	新地町教育委員会：編	新地町教育委員会	2001.3	210シ(書庫郷土・書庫禁帯)	平成12・13年の新地貝塚・貝塚西遺跡・山海道遺跡の試掘調査報告書
3	ふくしま考古学研究の春暁	棚倉式土器の発見・新地貝塚の発掘	福島県文化財センター白河館：編集	財団法人福島県文化振興事業団	2012.10	210フ(郷土・郷土禁帯・書庫郷土・)	福島県文化財センター白河館まほろんの展示を紹介。棚倉式土器と新地貝塚に焦点をあてる。
4	日本の古代遺跡 45 福島		馬目順一ほか：編著	保育社	1991.5	210モ(郷土)	三貫地遺跡・新地貝塚・武井地区製鉄遺跡群についてp47～50、62～65、120～130に掲載有り。
5	相馬・双葉の原風景	福島県浜通りの歴史と民俗	大迫 徳行：著	岩田書院	2013.4	212オ(郷土)	p104に館岡春波の説明として新地貝塚を世に広めた人物、p106に横山丁々(福田生まれ)の句について、p113に松田亨(新地高校教師)について、p140に伊達政宗の駒ヶ嶺城・新地蓑首城攻略について、p182に天文二十一年に現在の相馬市と新地町に分けられたこと、p284に邑岡聖の「道中日記」の中で新地を通過したことが記載されている。

No.	タイトル	叢書・副書名等	著者	出版社	出版年	分類(場所)	内容
6	図説 相馬・双葉の歴史		石原 敬彦[ほか]:編	郷土出版社	2000.1	R212ス(郷土)	新地貝塚・三貫地貝塚(p1)写真掲載、三貫地遺跡(p26・p27)、貝塚と手長明神説話(p34・p35)、三貫地貝塚(p36～p39)、新地町武井地区製鉄遺跡群(p78・p79)、三貫地遺跡の古代集落(p84・p85)の記載あり
7	図説 福島県の歴史	図説 日本の歴史 7	小林 清治:編	河出書房新社	1989.10	R212ズ(郷土)	p15に駒ヶ嶺城写真掲載あり、手長明神と貝塚(p49・p50)、寺脇貝塚と三貫地貝塚にみる漁具と漁法(p52・p53)の記載有り
8	東北発掘ものがたり	2	東北歴史博物館:編集	東北歴史博物館	2004.7	R212ト(郷土)	II.手長明神伝説の解明、東北地方最初の学術的発掘によって手長明神伝説を解き明かした・新地貝塚出土品[東京大学総合研究博物館蔵]として、新地町の新地貝塚についての記述あり。「奥州観蹟聞老志」の手長明神の条の写真あり。p11～13
9	東北の古代史 1	北の原始時代	阿子島 香 // 編	吉川弘文館	2015.8	212ト(一般歴史)	p134の東北地方の貝塚分布地図上、p142に小川貝塚を東北大学で調査していた記載あり、p178の亀ヶ岡文化の主要遺跡日本地図に小川貝塚と三貫地貝塚掲載あり。
10	福島県の歴史		丸井 佳寿子	山川出版社	1997.4	212フ(書庫郷土)	p18～20に三貫地貝塚と新地貝塚、p51に善光寺遺跡、p55～58に武井地区製鉄遺跡群、p171～172に浜街道は正規の参勤交代の道ではなかったが通る者もいたこと(駒ヶ嶺宿)の記載有り。p280に米騒動が新地まで波及したこと、付録のp30の沿革表に新地町掲載あり。
11	みちのく移住の古代史・下巻	東夷の風		有限会社あぶくま出版企画	1996.1	212モ(郷土・書庫禁帯)	子眉嶺神社一駒ヶ嶺(p207・p208)、手長明神と貝塚(p209・p210)について記載あり
12	国指定史跡 新地貝塚附手長明神社跡保存管理計画書		福島県相馬郡新地町教育委員会:編	福島県相馬郡新地町教育委員会	2004.3	291フ(郷土・郷土禁帯)	新地貝塚関係資料
13	福島県	文化誌日本	庄司 吉之助:監修	講談社	1985.9	R291フ(郷土)	三貫地貝塚(p59・p60)、新地町(p85・p86)の記載あり
14	福島県の歴史散歩	新全国歴史散歩シリーズ	福島県高等学校社会科研究室:	山川出版社	1994.11	291フ(書庫歴史)	浜通北部概要(p212)浜通北部の史跡(p214)駒ヶ嶺城跡・三貫地貝塚・観海堂・新地貝塚(p247～p252)
15	福島県の歴史散歩	歴史散歩7	福島県高等学校地理歴史・公民科(社会科)研究会:編	出川出版社	2007.3	291フ(一般歴史・書庫歴史)	P8からの「相馬中村とその周辺ー相馬北部」に新地貝塚や観海堂、三貫地貝塚、駒ヶ嶺城跡などの記載有り。
16	新地町の文化財	ようこそ新地町へ	新地町教育委員会:編集	新地町教育委員会	2014.1	709シ(郷土)	新地貝塚(p6、7)、鹿狼山(p39)の記載あり
17	新地町の文化財ご案内	ようこそ新地町へ	新地町教育委員会:編集	新地町教育委員会	1999.11	709シ(郷土・郷土禁帯・書庫郷)	新地貝塚・手長明神社跡(P2)、新地貝塚附手長明神社跡(写真あり)、新地町文化財位置図あり

【新地町について】

No.	タイトル	叢書・副書名等	著者	出版社	出版年	分類 (場所)	内容
1	新地町史	自然民俗編	新地町史編纂委員会 // 編集	新地町(福島県)	1993	212シ(郷土・郷土禁帯・書庫郷土)	鹿狼鉱泉(P16)、鹿狼山付近地層など(P34～P51)、鹿狼山に生息する動物など(P54～p69)、手長明神(P424)
2	新地町史	歴史編	新地町史編さん委員会:編集	新地町教育委員会	1999.3	212シ(郷土・郷土禁帯・書庫郷土)	新地町の縄文遺跡(p19～p24)、新地貝塚と新地式土器(p25～p33)
3	福島県風土記		安田 初雄[ほか]:監修	旺文社	1995.11	281フ(郷土禁帯・書庫郷土)	釣師浜漁港・鹿狼山(p22・p118)写真掲載あり、新地町(p239)、三貫地貝塚(p299)、伊達政宗の南奥州制覇(p344)の記載あり
4	角川日本地名大辞典 7	福島県	竹内 理三:編	角川書店	1981.3	R291カ(書庫郷土)	鹿狼山(p290)、三貫地貝塚(p398)、新地(p463)、相馬郡新地町(p1108・p1110)の記載あり
5	福島県	郷土資料事典 7 ふるさとの文化遺産	齋藤 建夫:編	人文社	1998.2	R291キ(郷土)	新地町(p234・p235)の記載あり。(新地貝塚、子眉嶺神社、鹿狼山)
6	福島県民百科		福島民友新聞社 福島県民百科事業本部:編	福島民友新聞社	1980.5	R291フ(郷土・書庫禁帯)	新地貝塚・三貫地貝塚(p153)、鹿狼山(p211)、観海堂(p217)、新地町(p496)に記載あり



※新地町図書館では、新地に関する本を収集しています。新地の方が書いた本や冊子、新地に関する昔の古い資料など、寄贈を受け付けていますので、お心当たりのある方は、お気軽にご相談ください。